

九州電子顕微鏡技術研究会
2017年8月19日(土) 九大西新プラザ

演 題 電子顕微鏡と過ごした40余年

友清 芳二 (ともきよ よしつぐ)
(九州大学 名誉教授、サイエンス福岡クラブ代表)



講演要旨

私は、九大工学部 大学院修士課程を修了した1968年に同じ学部の助手に就職してから2006年に九大を定年退職するまで、一貫して電子顕微鏡を使った材料の微細構造解析に関わる仕事をしてきました。

定年退職後は「文科省のナノテク支援事業」で雇用され、2015年3月まで九大超高压電子顕微鏡室(現超顕微解析研究センター)において「ナノマテリアル開発のための超顕微解析」のお手伝いをしてきました。

この40余年間に透過電子顕微鏡法はすっかり変わってしまいました。講演では、一材料研究者の立場から見た、透過電子顕微鏡法の変遷をたどってみたいと思います。また日本顕微鏡学会を通していろいろな分野の人たちと交流ができました。この辺のことについても少し触れたいと思います。